

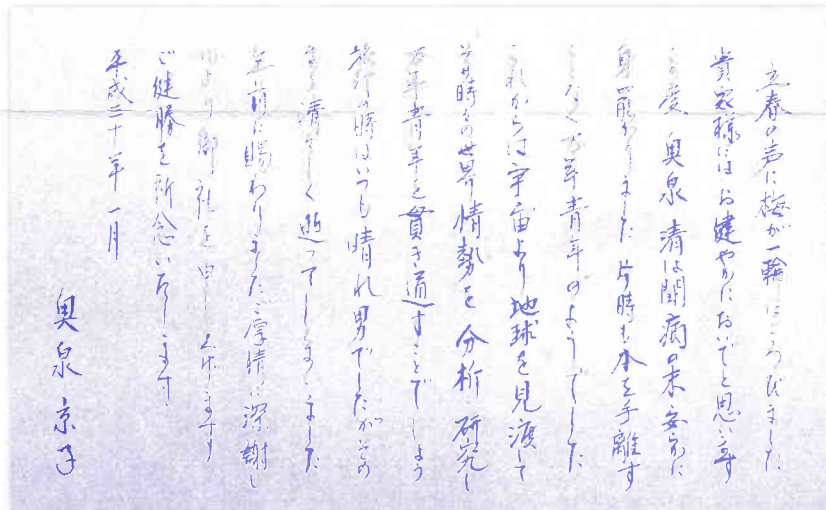
# 七友会 だより

## 奥泉 清先生を偲んで

平野 利幸

はじめに、京美人で素敵な奥様からいただいたご挨拶のお便りをご紹介します。

目 次	
奥泉 清先生を偲んで	1
これからの予定	1
人文社会科学部創設 40周年記念事業	2
三田地宣子先生の瑞宝 中綬章受賞祝賀会開催	2
「進路選択セミナー」 レポート	3
評議員会開催案内	3
「卒業生・修了生と学長との懇談会 (第11回)」開催案内	3
会員の皆さん、連絡先 をお知らせ下さい	4
9月卒業生・修了生	4
訃報	4



「君たち、もっと本を読まなきゃいかんよ」甲高いちょっと関西弁風の口調でよく叱られました。

先生は大阪の私学、桃山学院大学から恩師原田先生のお誘い(命令?)で、気に入っていた大阪から岩手にいらっしゃいました。大阪に家を建てたばかりで、多少イヤイヤな(?)気持ちもあったようですが、新築の家はゼミのOBの方々が見倒れてくれたようで、ご家族の皆さんは「雪がある、スキーがしたい」と結構喜んでいました。先生も、開運橋や大学から岩手山が見えるその風景、環境がとても気に入っていました。

私が3年間お世話になった奥泉ゼミは「国際経済論」。先生曰く「日本経済は世界経済の一部なんだから、世界経済をちゃんと勉強しなきゃいかんよ」。おっしゃる通りです。素直な(?)私は3年間「日本経済新聞」を読んでましたが、「日経新聞を3年間読んで何か役に立ったんでしょうか?」と訊いたところ、先生は笑って(先生の笑い顔はちょっと喪黒福造に似ていると私は感じてましたが?失礼(...))「君、3、4年勉強したからと言って解るとか役立つとか言うもんじゃないよ、経済学に限らず学問は一生だよ。だから日々勉強だよ。だがね、その努力はちゃんと活かされるよ、様々起こる経済事象がどういことが理解できるセンスはちゃんと付いているから大丈夫。常に問題意識を持ちなさい」とおっしゃいました。何事にも常に問題意識をもって生きることが大事だと教わりました。また、野球部にも入っていた出来の悪い私に「一緒にスポーツをした仲間も大事だが、頭で付き合った(討論しあった)仲間も大事にしなさい」とも教えていただきました。その教えは私の人生の大きな指標となりました。本当にありがとうございました。

先生は退官後仙台にいらしたのですが、何故仙台かという、東北大学出身(生まれは埼玉県)なのはもちろんですが、原田先生もいらしたし、何より大学にある本が存分に読めることも理由の一つだったそうですw(◎\_◎)w 奥様がおっしゃっていましたが、お亡くなりになるまで本を読んでいたそうです。特に「週刊エコノミスト」はずっと続けて読んでいて、病床にもちゃんと届けていたそうです。

研究室に酒が置いてあり(+\_)厳しいゼミの後によく飲んだこともいい思い出ですが(時効だよね?)、その「酒飲み先生」(^^)というイメージとは別の、「生涯勉強!」という先生の姿勢に改めてリスペクト!(^^)!

奥泉先生、本当にお疲れさまでした。どうぞ次の世でも益々ご活躍下さい。さようなら(@^^)/"

これからの予定

3 / 23	4 / 6	5 月	6 / 22	6 / 23	7 / 28
岩手大学卒業式	岩手大学入学式	同窓会連合理事会	進路選択セミナー	平成三十年度評議員会	卒業生・修了生と学長との懇談会(東京)

## 人文社会科学部創設40周年記念事業

平成29年10月27日（金）、人文社会科学部創設40周年記念行事が開催されました。

### ＝記念講演会＝

午後3時より、理工学部復興祈念銀河ホールにて人社卒業生のお二方を講師に迎え、記念講演会が開催されました。大学関係者（現・元教職員・学生、同窓生等）、一般市民の方を対象に100名ほどの参加で、佐々木氏の講演には、学生10数名も参加していました。



講師① 野上記念 法政大学能学研究所

教授：宮本 圭造氏（平成4年卒、大阪府出身）

演題：「形のない文化の素晴らしさを岩手で知る

－鹿踊り・山伏神楽から能学の歴史へ－

宮本氏は、奈良の高校から岩手大学に進学した理由からはじまり、大学への戸惑い、そして休学。復学後は伝承としての文献がない東北の民俗芸能（神楽等）に興味をもち、各地で見て回ったこと。大阪大学大学院へ進学し、能学を専攻されたこと、南部藩では能が盛んだったことなどを話されました。最後に以前に撮影した東北の民俗芸能のビデオを紹介していただきました。

「形のない文化」はいったん無くなると元の形に戻すことはできないという言葉が印象的でした。

講師② 復興庁 ボランティア・公益的民間連携班（文部科学省より出向中）

主査：佐々木 葵氏（平成26年卒 岩手県奥州市出身）

演題：「国家公務員として『復興』のためにできること」

佐々木氏は、学生生活から震災発生時の状況、元々は県職員志望で、国家公務員には関心がなかったことを話され、それがなぜ文部科学省に入省するに至ったか、そして復興庁に出向した理由について話されました。（おそらく人社からは初の文部科学省総合職（旧I種）採用だと思います）

現在の仕事での学生ボランティアとの関わり、復興・創生インターンについても話されました。



### ＝記念祝賀会＝

記念講演会終了後、ホテルルイズに会場を移し、記念祝賀会が開催されました。現・元教職員、同窓生等全体で90名ほどの参加で、うち同窓生は県内在住者を中心に10数名の出席でした。

横山英信学部長のあいさつに続き、岩淵明岩手大学学長、佐原和典七友会会長、中野玲子教育後援会長（同窓生）が祝辞を述べ、太田利彦名誉教授の音頭で乾杯となりました。

その後、高塚龍之名誉教授（元副学長）、遠藤隆七友会理事、小野澤章子准教授（同窓生）の各氏が、それぞれの思い出を交えスピーチを行いました。

そして午後8時過ぎ、白倉孝行副学部長の音頭で一本締めを行い、お開きとなりました。



## 三田地宣子先生の瑞宝中綬章受賞祝賀会開催

平成29年9月16日（土）、多年にわたる教育研究の功績により瑞宝中綬章を受章された岩手大学名誉教授三田地先生の叙勲受章祝賀会が盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催されました。

三田地民法ゼミ出身者をはじめ、人社卒業生や学芸学部、教育学部卒業生など約60名の参加のもと大変賑やかな祝賀会となりました。

三田地先生は、現在も岩手県ユネスコ協会連盟の会長や、都市・地域学研究所、青史社の代表を務められており、先生からは現役時代の講義同様、凛とした受賞のご挨拶を頂戴いたしました。先生におかれましては、まだまだお元気にご活躍されますようお祈りいたします。



## 「進路選択セミナー」レポート

栗林 健司

2018年2月9日（金）16時30分から人文社会科学部G19教室で「進路選択セミナー」が開催されました。今回、講師となったのは一期卒業生の相澤文恵さんと瀬川良久さん。

16時30分からの枠は欧米研究を専攻卒業後、院で行動科学を専攻していた相澤さん。

「人生の選択肢の拡げ方」と題し、自身のキャリア選択を紹介しつつ、一般論としての「職業選択の悩み」「資格の勉強」などについて体験を交えて説明されました。相澤さん自身は県立博物館の学芸員を経て、岩手医科大学の研究職とキャリアアップしており、その過程での、研究職につく難しさや専門分野である行動科学を教える機会の少なさなどに言及しました。

それでも様々な機会をとらえて行動科学の理論と外部の講座で教えるなど、実績を積み重ねながら、「医学部での行動科学のカリキュラム導入」の流れもあって、現在は教授になられています。

当然、講義などで培ったプレゼン技術は実に巧みで「人生の選択肢は広げることでおもしろくなる」「資格は積極的にとるべき」「自身の限界に勝手に壁を作らない、自分自身を見切らないといったマインドセット論」などを交えつつ、現役学生の悩みを直撃する内容でした。



今回のセミナーに参加したのは2年次の学生が多いと聴きましたが、彼らにとって相澤先輩の「仕事論」は将来を考える、非常に良い機会になったと思います。

つづく17時過ぎからの枠は同じく一期卒業生で経済専攻の瀬川さん。

実は瀬川さんも社会人学生として学位論文を書き上げ博士号を取った方です。

瀬川さんのキャリアのスタートは日立系の製品輸出会社日立ハイテクノロジーズ。同社で1988年から渡米し、4年間シカゴで勤務しました。その後も97年から台地勤務をするなど海外営業の分野を専門としつつ、2001年43歳で転職。現在は「サンミナ」という電子部品の設計支援と生産を受け持つ会社の日本法人のディレクターをつとめています。

その後、51歳で前述の社会人学生となり、ご自身の知識、経験の学術的な体系化の集大成として、学位論文を執筆しました。瀬川先輩の講義も職業選択と人生設計のビジョンの大切さを示しており、学生にとって人生の入口を意識する良い経験となったかと思います。今回の2人の先輩の講義は様々な内容を含んでおり、学生にとってもいろいろな分野での学びや気付きの大切さを意識するきっかけになることを望みます。

講師・アドバイザーとして協力していただける方はお知らせ下さい。特に女性の講師の要望が多いので、同窓会からお願いすることもあります。その際は、是非、御協力下さるようお願いいたします。様々な仕事、経験をお持ちの方にお話しいただきたいと考えていますので、自薦・他薦よろしくお願ひします。

次回は… 平成30年6月22日(金)を予定しています。学生の皆さんへは、学部就職委員会を通じお知らせします。

### 平成30年度 評議員会開催案内

平成30年度の七友会評議員会を下記の日程で開催いたします。

評議員の方で出席できる方は、郵便あるいはHP (shichiyukai.net) 等を利用しお知らせ下さい。出席される方の旅費等については、予算内において同窓会が負担します。

なお、評議員以外の方も参加できますので、事前にお知らせ下さい。

記

- |    |   |
|----|---|
| 日時 | 平成30年6月23日（土）13：00～17：00  |
| 会場 | 岩手県公会堂 15号室（県庁となり）  |
| 議題 | 1. 平成29年度 事業報告及び会計決算報告について<br>2. 平成30年度 事業計画（案）及び会計予算（案）について<br>3. 役員改選<br>4. その他 |

### 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）」開催案内

岩手大学と岩手大学同窓会連合が共催する「卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）」は、下記日程で開催することになりました。お誘い合わせの上、ぜひ御参加下さい。

記

日時：平成30年7月28日（土）  
懇談会 15：00～17：00  
懇親交流会 17：30～19：00  
（会費7,000円 同窓会より半額補助予定）  
会場：ホテル東京ガーデンパレス  
東京都文京区湯島1-7-5 御茶ノ水駅から徒歩約5分

関東地区（東京、神奈川、千葉、埼玉など）の会員の方には、例年どおり往復ハガキで案内しますので、お誘い合わせの上御参加下さい。

なお、ハガキが届かない方や、関東地区以外の方で参加したい方は、七友会事務局まで郵便等でお知らせ下さい。6月末を期限としますので、よろしくお願ひします。

当日、会場での参加申し込みも可能ですが、会場の都合上、できるだけ事前の申し込みをお願ひします。

### 会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部発展及び同窓生の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

### 連絡先情報

<small>ふりがな</small> 氏名	(男・女)	卒業 専攻	期 (S (コース 課程))	年	月卒 <small>別室 ゼミ等</small>	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒						
(自宅) TEL FAX	/	携帯	/	勤務先名等 (可能なかぎり)		
E-mail						
家族等連絡先 〒						

### 連絡先不明者の氏名

連絡先が不明となっている同窓生の方々の氏名を掲載します。情報をお持ちの方は、郵便等で同窓会までお知らせ下さい。御協力をお願いします。

Web掲載版では、個人情報保護のため削除しております

#### 9月卒業生・修了生

<卒業>国際文化課程 石本 祥 佐々木 稜  
                            星 佳奈 高橋 翼  
                            / 鈴木 康  
                            法学・経済課程  
                            環境科学課程 高野 研

<修了>人間科学専攻 田代 友里子  
                            社会・環境システム専攻 張 楠 楠  
  DENG CHAOBO  
おめでとうございます。今後の活躍を期待します。

現在、諸般の事情により、事務局Eメール(jimu@jinsya.com)及び関東支部HP(www.jinsya.com)は休止状態になっています。同窓会の動きを知りたい場合は、岩手大学HPから「卒業生の方」へ進み、同窓会「七友会」へ進むと七友会のHPへ進むことができます。現在は(shichiyukai.net)が、最新の情報を提供しています。同窓会への連絡は郵便又は七友会ネットを御利用下さい。

#### 訃報

- \* 人間文化課程 講師 秋田 淳子氏(享年51歳)(平成29年8月8日)
- \* 名誉教授、元学部長 奥 清氏(享年88歳)(平成30年1月14日)
- \* 名誉教授、元学部長 池野 九平氏(享年97歳)(平成30年2月20日)
- \* 近 藤 吉夫氏(昭和56年3月卒)(平成30年1月)  
御冥福を祈ります

#### 岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

〔郵便宛先〕020-8550 盛岡市上田3-18-34  
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛  
〔事務局〕Tel(留守録)& Fax: 047-336-3945 (休止中)  
E-mail: jim@jinsya.com (休止中)

**ホームページもご覧ください!**  
http://www.shichiyukai.net/  
http://www.jinsya.com/〔関東支部〕(休止中)